

生活支援コーディネーターだより



発行・編集：普代村社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

令和7年12月No.3 | 発行

地域支え合い活動

10月3日（金）系NOKO倶楽部さんのご協力で、黒崎展望台に設置している踏み台のメンテナンスを行いました。令和5年の設置から2年が経過し、防腐剤の効果も薄れてきていることから、今回改めて防腐剤の塗布作業を行いました。

黒崎展望台はみちのく潮騒トレイルともつながっており、近年は外国からの来訪者も増えています。普代村を訪れる皆さまが気持ちよく過ごせるよう、これからも地域を支える活動を地道に続けていきたいと思っています。



新たなボランティアさんに感謝

今回は、鳥居地区の黒畑国男さん（木材を切る作業）、上区の深渡 寛さん（数字を複写する作業等）のご協力で、屋外用モルックが完成しました。

構想から2年、お手伝いをしてくださる方を探していましたが、ようやく形にすることができました。急なお願いにも快く応えてくださり、改めて人とのつながりに感謝しています。来年は、屋外でモルック交流活動を行いたいと思います。





認知症カフェ



孫世代のための認知症講座



11月27日（木）普代小学校において、4年生を対象とした「孫世代のための認知症講座」が開催され、認知症地域支援推進員として参加しました。本講座は、子どもたちが認知症について正しく理解し、身近な高齢者の方々へ温かい「思いやりの心」を持って接するきっかけを育むことを目的としています。講座では、まず認知症の基本的な知識を伝えるミニ講話を実施しました。続いて、認知症の方の症状や、接し方の具体的なヒントを伝えるための寸劇を披露。参加した児童から「認知症のお年寄りへの接し方が良く分かった」「もっと認知症について学びたいと思います」といった、前向きで心温まる感想が発表されました。

